

見守りカメラの設置を

無所属
こうだ ながあき
香田 永明



岡本理事 A 行政だけでの実現は難しい



▲安心・安全の見守りカメラを

藤原 中継センターの活用を
今後も効率的に施設を運営

問 町長選挙において候補者が、行政が主体となって見守りカメラ（防犯カメラ）を設置すると公約に掲げているが、設置検討はしていくのか。
答 防犯とは、地域と行政が合意形成も図りながら取り組むべきものであり、治安保持的な側面において行政だけでは実現できないと考えている。自治会に対して、補助の拡充もしている。

藤原 社会情勢を注視
テレワークの推進を

問 可燃ごみ中継センターにおいて最小の経費で最大の効果を出すために、さまざまな有効的な運営方法を考えるべきでは。
答 施設稼働後もトラブルなく安定稼働しており、受け入れもスムーズである。今後も安全で効率的な施設運営に努める。

問 スマートシティによる障がい者就業、高齢者就業、ひきこもり対策にはテレワークが効果的と考えるが見解は。
答 厚生労働省は、「障がい者の多様な働き方のひとつであり、テレワークには大きな可能性がある。」として、企業向け導入ガイダンスなどを開いている。
今後、社会情勢が変わり、テレワークでの雇用が一般的になれば、障がい者、高齢者、ひきこもりの方の就業機会の拡大が図られると考える。

みんなで楽しめる公園に

政風会
おかだ ちかこ
岡田 千賀子



町長 A 利用者の声を反映する



▲インクルーシブ遊具が新設された公園（稲美町）

新しい中学校制服は
多様性に配慮して
町長 選定

き選定に反映した。また、近隣自治会や公園利用者の意見を取り入れ、時計やパーゴラなど設置した例もある。
今後は、広報紙やホームページなどで「公園利用者の声」を聞きたいと考えている。

問 インクルーシブ遊具は、障がいの有無にかかわらず全ての子どもと一緒に遊ぶ経験を重ねることが出来る。公園新設や遊具の更新時に設置する考えは。
答 設置スペース、財源など考慮し、今後の遊具更新時に導入できるかどうか検討する。
問 みんなで楽しめる公園づくりを目指し、多様な当事者の声をどの様に生かしていくのか。
答 野添北公園のコンビネーション遊具設置について、小学生の希望を聞

問 ジェンダーレスに配慮した中学校制服の選定は。
答 令和3年度からPTA役員、校長が中心となり、小学校5年生の保護者アンケートなども参考に検討してきた。
LGBTQ+などへの配慮や機能性の高い制服の採用に向け選定した。
問 多様性を認め合える環境づくりを目指した学校での研修などは。
答 小中学校においては、既に環境づくりに取り組んでいる。今年度も性的マイノリティなどに関する研修を計画している。

家族介護慰労金の要件緩和を

日本共産党
まつおか みつこ
松岡 光子



町長 A 支給要件緩和の考えはない



▲介護の負担を減らす思いやりある施策を

問 6つの家族介護支援特別事業があるが、播磨町はどの事業をいつから実施しているのか。
答 平成13年度から、家族介護用品の支給と家族介護慰労金を支給している。認知症高齢者見守り事業として平成28年度から、あんしんキーホルダー登録事業を実施している。

問 現在の家族介護慰労金の支給要件は、町民税非課税世帯で要介護3以上の認定を受けているが、過去1年間、介護サービスの合計利用日数が10日以内であることである。実績はない。
問 現在の家族介護慰労金支給要件では、今後申請はないと考える。支給要件緩和の考えは。
答 平成30年度の厚生労働省の通知を受け、支給要件を緩和しており、現在緩和は考えていない。

町内のWi-Fi整備の今後は

無所属
おおきた よしこ
大北 良子



岡本理事 A 7月中に設置を終える予定



▲福祉会館にフリーWi-Fiの設置を

問 昨年6月の一般質問で、公共施設にフリーWi-Fi導入を進めていくとの答弁があった。また、施設方針でも公共施設に設置していくとあったが、どの施設に設置するのか。その時期は。
答 本年度は第一庁舎・中央公民館・図書館・きつづなホール・4こみせんの合計8カ所に設置する。7月中には設置を終える予定である。

山口 国や県の指針に
準じて設定
理事

問 全ての住民が利用できることが、今後の共生社会にとって必要不可欠である。パソコン教室やスマホ講座の実施予定は。
答 利用方法を習得することも大切だと考える。県と携帯電話事業者と連携して、スマホ講習会の開催を検討している。
問 感染症対策分科会よりマスク対応についてメディア発表があったが、本町での児童への対応は。
答 熱中症予防の観点から、登下校時や運動中などはマスクを外す指導をしている。
問 アレルギーなどでマスク着用が困難な児童が、いじめにあわない対策は。
答 偏見や差別がないように、道徳や学活の授業などで取り組みを行っている。